

第366回三木市議会定例会 市長 閉会あいさつ

令和3年9月28日

閉会に当たりまして、ごあいさつを申し上げます。

このたびの定例市議会におきましては、9月1日の開会以来28日間にわたり、地方税法の改正に伴う市民税の改正や、就学前児童の保育需要の増加に対応し、志染保育所を当面継続する条例改正等の案件に加え、新型コロナウイルスワクチンの接種対象年齢の引き下げ及び市民のワクチン接種率を当初想定の70%から80%へと見直しを行ったことによる接種委託料等の追加など、緊急を要する経費についての補正予算、その他人事案件などについて、ご審議をいただきました。

議員の皆さまにおかれましては、終始ご精励を賜り、本会議並びに各常任委員会において、それぞれ慎重なるご審議を尽くされたことに対しまして、敬意を表する次第です。

おかげをもちまして、このたびの市議会に提案いたしました議案につきましては、適切なるご決定を賜りましたことに、厚

くお礼を申し上げます。

なお、「令和2年度各会計決算の認定」に係る議案につきましては、別途、決算特別委員会において、引き続き審査をいただくこととなりました。

委員の皆さまには、十分なる審査の上、認定をいただきますようお願い申し上げます。

さて、今定例会の冒頭で、三木市民の新型コロナワクチンの1回目の接種率は、8月末時点で69.84%と申し上げました。

その後、緊急事態宣言下にあって、若い世代を中心にワクチン接種に対する理解が浸透し、9月26日時点では、12歳以上のワクチン接種対象者70,257人のうち55,865人、率にして79.52%の方が1回目の接種を済まされております。

このまま順調に進めば、4週間後の10月末には三木市民の8割以上の方が2回のコロナワクチンの接種が完了する予定です。

7月中に65歳以上の高齢者のワクチン接種を完了させると

いう国の要請を受けて以来、市では旧志染中学校を大規模接種会場と定め、1日最大千人以上の接種枠を確保したことで、国からモデルナ製ワクチンの優先配分を受けることができました。

加えて、市民の皆さまのワクチンに対するご理解とご協力を得、また、三木市医師会をはじめとする医療従事者の皆さまの強力なバックアップにより、大規模接種会場ではモデルナ製を、市内医療機関ではファイザー製のワクチンを使用する方針を早期に確立し、市を挙げてワクチン接種を加速してまいりました。

その結果、ワクチン不足が顕在化し国全体が混乱する中であっても、三木市においては、比較的順調にワクチン接種を進めることができました。

一定の役割を終えつつある旧志染中学校での大規模接種会場については、10月末をもって終了とさせていただきます。

接種を希望されているにも関わらず未だ接種されていない方に対しましては、接種勧奨や不安を抱く方への相談など、引き続き市民の皆さまに寄り添った取組を進めてまいります。

また、2回目の接種から8か月後に実施することが予定されている3回目のワクチン接種につきましても、国の動向を注視しつつ、適切に対応してまいりますので、市民の皆さまのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

さて、9月末に迫った緊急事態宣言期間の終了から、その後のソフトランディングについて、現在、国や県では議論されているところです。

国から配分を示された事業者支援に係る地方創生臨時交付金約6,600万円の使途につきましては、今定例会でのご提案には至りませんでした。現在、その補正予算の編成を鋭意進めているところであり、まとめ次第、10月中にも臨時市議会を招集させていただき、ご審議をいただく予定としておりますのでよろしくお願いいたします。

朝夕はめっきり涼しくなり、昼夜の寒暖差が大きい季節となつてまいりました。

太平洋沖で発達した台風16号の進路は西日本からは少し東に逸れる予報となっておりますが、今週末にかけ、大気が不安定となる可能性もございます。

市民の皆さまにおかれましては、市の発する情報には十分にご留意をいただき、大雨等による避難情報が出た際には適切に行動していただきますよう、よろしくお願いいたします。

議員の皆さまにおかれましても、くれぐれも健康にはご留意
いただき、引き続き、市政の発展のためにご活躍くださいます
ようお願いを申し上げ、閉会のあいさつといたします。

ありがとうございました。